

令和4年度 包括的公表

| | 発生年月 | 発生場所 | 事故の概要 | 再発防止策 |
|----|---------|------|--|--|
| 1 | 2022.4 | 病室 | 抗菌剤の推奨投与時間より速い速度での投与により、アナフィラキシー症状が出現した。 | 使用薬剤の注意事項と職員間の情報共有について再周知した。 |
| 2 | 2022.5 | 病室 | マグセントの使用時、推奨投与速度より速い速度で投与した。 | 使用方法を再周知した。 |
| 3 | 2022.5 | 病室 | 子宮鏡下切除術における頸管拡張時に子宮壁の穿孔を認めた。 | 医師の経験年数、実施回数で超音波を併用する基準とし、器具挿入時は必要に応じて超音波で確認しながら実施することとした。 |
| 4 | 2022.6 | 外来 | 抜歯時の切削バーの破損により異物が体内に残存した。 | 器具のコピーを準備し、使用後に比較し、破損の有無を確認する。破損を確認した場合はX線撮影を行う。 |
| 5 | 2022.7 | 手術室 | 白内障手術時にシェルガンの針が外れ、チン小帯が断裂した。 | ロックを確認した後渡すよう指導した。 |
| 6 | 2022.7 | 病室 | インスリンの希釈指示を見落とし、100倍濃度で投与した。 | 希釈指示の方法を変更した。 |
| 7 | 2022.10 | 手術室 | 子宮体癌検査時に検体を誤って破棄し、再検査が必要となった。 | 検体提出時の確認方法について再周知した。 |
| 8 | 2022.12 | 病室 | 子宮筋腫切除術前の子宮頸管拡張処置時に子宮穿孔が生じた。 | 医師の経験年数、実施回数で超音波を併用する基準とし、器具挿入時は必要に応じて超音波で確認しながら実施することとした。 |
| 9 | 2023.1 | 病室 | 疼痛時にアレルギーのある同系列鎮痛剤を使用し、アレルギー症状が出現した。 | 同系列薬剤の一覧表を再周知した。 |
| 10 | 2023.2 | 手術室 | 抜歯時の切削バーの破損により異物が体内に残存した。 | 使用回転数の確認の再周知と回転数の表示方法の変更を行った。 |